

---

# 決算及び経営活動の現況

2022年6月9日

株式会社 東京エネシス

# 目次

---

1. 2021年度決算の概要
  - 1.1. 2021年度 決算の概要（連結）
  - 1.2. 2022年度 業績予想（連結）
    - 1.2.1. 部門別内訳（連結）
  - 1.3. 2021年度中期経営計画 目標値の再設定
2. 当社の現状と今後の取り組み・展望  
～脱炭素社会実現へ向けた事業構造の転換～
  - 2.1. 経営環境の変化と対応
  - 2.2. 2021年度中期経営計画
  - 2.3. 基盤事業の強靱化に向けた本部体制の再編成
  - 2.4. グリーンエネルギー事業本部体制
    - 2.4.1. これまでの再生可能エネルギー事業①②
    - 2.4.2. グリーンエネルギー事業本部①②
    - 2.4.3. グリーンエネルギー事業関連 売上高の推移（連結）
  - 2.5. 今後の予測 市場別の予測
3. 成長を見据えた投資
4. 資金調達
5. 配当方針
6. サステナビリティへの取り組み  
【この1年間のトピックス】  
【参 考】

---

# 1. 2021年度決算の概要

## 1.1. 2021年度 決算の概要（連結）

### 受注高

**117,055百万円**

前年同期比 + 36,892百万円

- 福島第一原子力発電所廃止措置関連業務、バイオマス発電所の長期運転保守業務受託、事業承継に伴う火力発電設備建設工事等の増加により、過去最高額を更新

### 手持工事高

**128,323百万円**

前年同期比 + 41,936百万円

### 売上高

**72,578百万円**

前年同期比 + 13,064百万円

- 承継工事を含む火力発電設備の大型建設工事の進捗により増加

### 営業利益

**3,158百万円**

前年同期比△946百万円

- 原価率の高い工事の比率の増加
- 事業承継に伴う顧客関連資産等の償却費の計上
- 柏崎刈羽原子力発電所の溶接不良案件に伴う損害補償損失引当金及び工事損失引当金計上により減少

### 親会社株主に 帰属する 当期純利益

**1,226百万円**

前年同期比△1,520百万円

## 1.2. 2022年度 業績予想（連結）

### 〔2022年度業績予想〕

- 電力システム改革による競争激化や電力設備投資の抑制、新型コロナウイルスによる経済停滞、原材料価格の高騰等のコスト増要因が加わり、エネルギーインフラ事業に携わる当社グループにとって引き続き厳しい経営環境が継続
- 売上高、親会社株主に帰属する当期純利益は前年度から好転するものの、営業利益、経常利益は先行きの見通しが不透明であることを踏まえ、ほぼ横ばいと予想

### 〔配当予想〕

- 業績予想及び長期安定配当の方針に基づき、今年年間30円を予想

### 【連結業績予想（2022年度）】

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
百万円	百万円	百万円	百万円
80,000 (10.2%)	3,200 (1.3%)	3,300 (1.3%)	2,100 (71.2%)

※ ( ) は、対前期増減率

### 【配当の状況（予想）】

年間配当				
第1四半期	第2四半期	第3四半期	期末	合計
円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
—	15.00	—	15.00	30.00

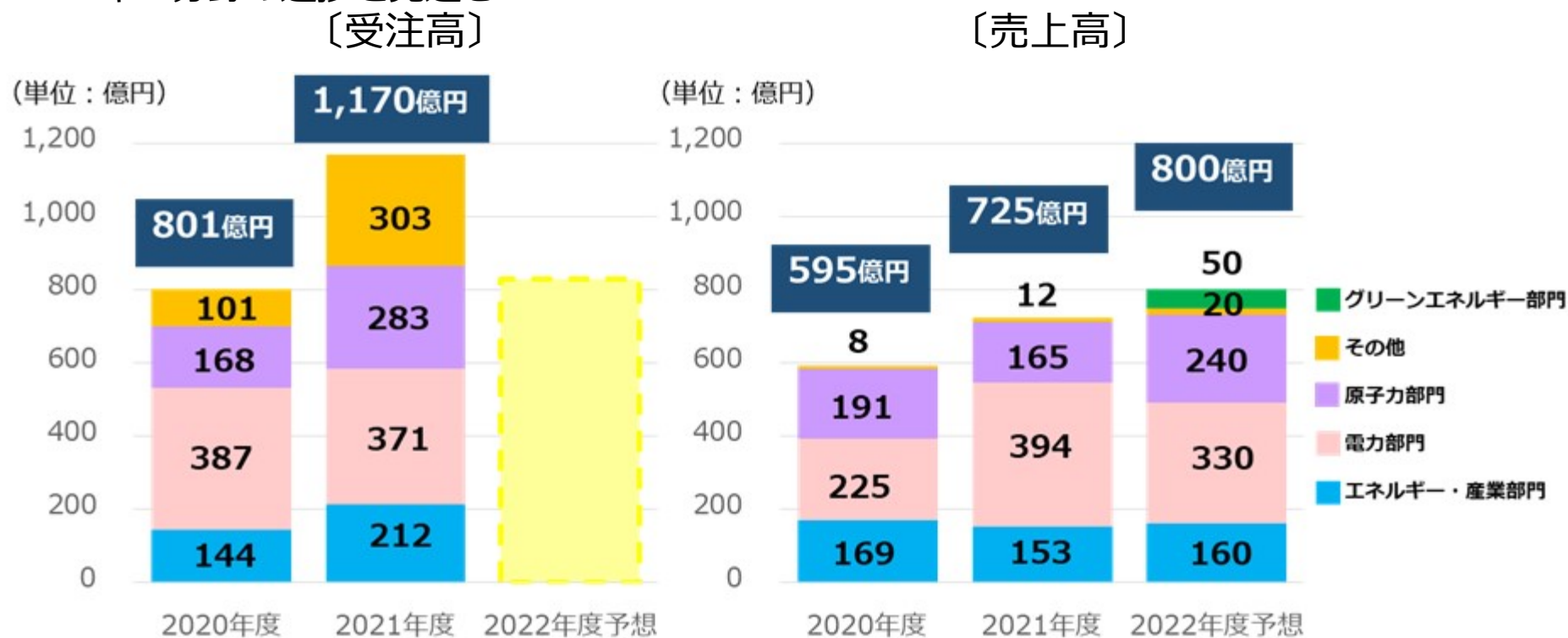
## 1.2.1. 部門別内訳（連結）

### 〔受注高〕

- 2021年度：「原子力部門」福島第一原子力発電所廃止措置関連業務、「エネルギー・産業部門」一般産業分野（鉄鋼、化学工場）、再生可能エネルギー分野、「その他部門」バイオマス発電におけるO&M事業、における大型受注による大幅な伸び
- 2022年度：反動減の傾向にあるが売上高並みの800億円規模の受注を確保

### 〔売上高〕

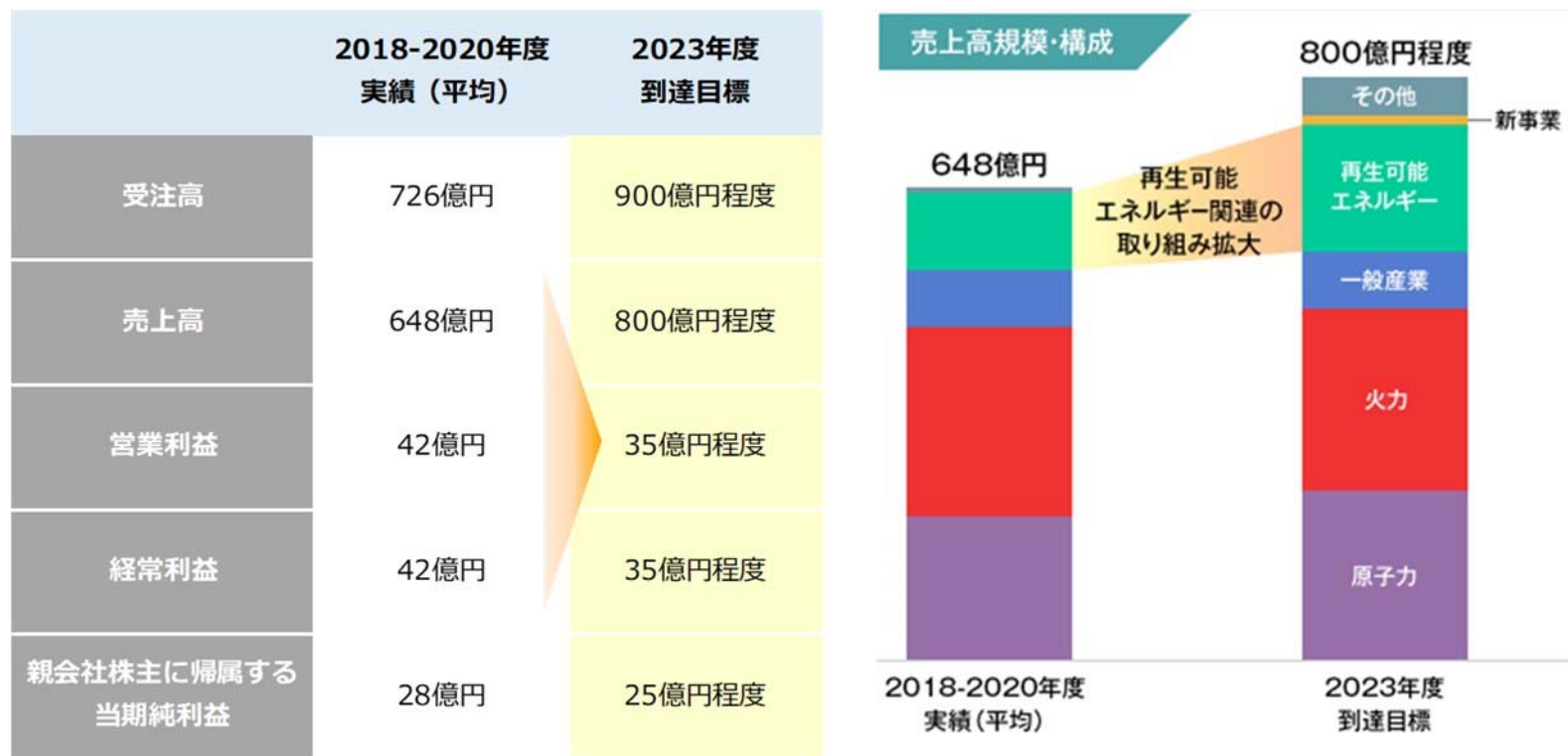
- 2021年度：電力部門での大型建設工事（事業承継含め）が押し上げ要因
- 2022年度：原子力部門（福島第一原子力発電所廃止措置関連業務）、再生可能エネルギー分野の進捗を見込む



# 1.3. 2021年度中期経営計画 目標値の再設定 (2023年度 (単年))

## 〔目標値再設定〕

- 2021年度実績並びに2022年度業績予想を踏まえ、目標設定を同中期計画の最終年度に再設定
- 目標値について、売上高に変更はないが、利益面は下方修正



## 〔2022年度の最重点課題〕

- 柏崎刈羽原子力溶接不良案件を重く受け止め、今年度の最重点課題として、当社の原点であるQuality Orientedの精神に立ち返り「現場・現物・現実」の三現主義を徹底
- そのために、現場施工状況の確実な把握、品質維持・改善等へ経営資源を適切に投入

---

## 2. 当社の現状と今後の取り組み・展望

～脱炭素社会実現へ向けた事業構造の転換～  
(グリーンエネルギー事業の加速化)



## 2.1. 経営環境の変化と対応

### 経営環境の変化

【東日本大震災 福島第一原子力発電所事故】

- ・ 福島第一の廃止措置
- ・ 福島復興関連
- ・ 安全対策／新規制基準

【電力システム改革】

- ・ 競争激化
- ・ 電力設備投資の抑制

【脱炭素社会実現への対応】

- ・ 石炭火力への逆風
- ・ 石油火力の廃止・リプレース
- ・ LNG火力の高効率化
- ・ コージェネ、空調設備他の増加
- ・ 再生可能エネルギー拡大の継続
- ・ 2050年カーボンニュートラル宣言
- ・ 水素、アンモニア導入拡大の検討

【エネルギー安全保障確保】

- ・ 電力需給逼迫による休止火力再稼働
- ・ 脱炭素、電力安定供給に資する原子力の活用

### 当社の対応

2015年度中期経営計画

「事業領域の継続的な拡大」

2018年度中期経営計画

「収益構造の多様化と組織力の最大化による持続的な成長・拡大」

【収益構造の多様化】

- ・ 既存領域の堅持
- ・ 新規顧客開拓による事業領域拡大
- ・ 長期的な安定収益確保に向けた新規事業の開拓

【組織力の最大化】

- ・ 顧客対応力向上に向け、営業部門と工事部門の一体化
- ・ 承継事業への確に対応するため火力プロジェクト本部設置

お客様へ最適なサービスをワンストップで提供できる組織へ改編

## 2.2. 2021年度中期経営計画

### 〔2021年度中期経営計画 最重点課題〕

#### 「基盤事業の強靱化と新事業領域の更なる拡大による企業価値の向上」

- 基盤事業である設備工事を強靱化しつつ、継続的に新規顧客開拓や新事業開発などの取り組みにより企業価値を向上
- 当社基本理念である「暮らしのより確かな基盤をつくる」の下、社会的責務として脱炭素社会構築への取り組みを実施

基盤事業の強靱化及び事業構造の転換に向けた取り組みを始動

#### 〔基盤事業の強靱化〕

- 既存本部体制の再編成
- 電力本部と火力プロジェクト本部の統合・再編
- エネルギー・産業本部のエンジニアリング機能の強化

さらに多様なノウハウを有する技術者集団として、さらなる市場競争力の確保に向けて組織力・技術力を強化

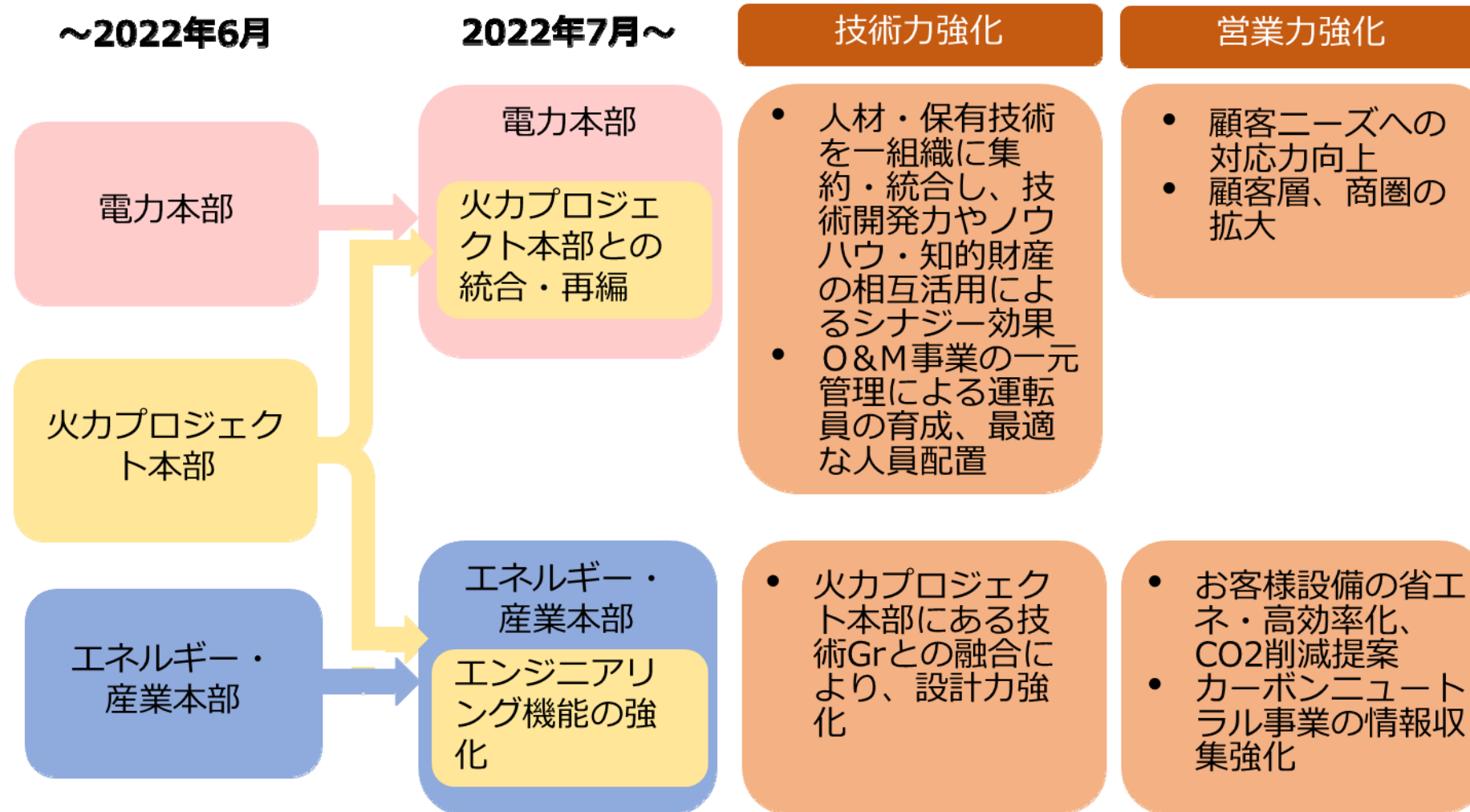
#### 〔新事業領域の更なる拡大〕

- 再生可能エネルギー関連事業をグリーンエネルギー事業へ発展させ当社事業のひとつとして主軸化
- 従来の請負型のビジネスモデルに加え、地域課題発掘・解決型ビジネスモデルを確立

地域社会の皆様と連携し、課題を共に解決していく事業構築に向け、グリーンエネルギー事業本部を発足

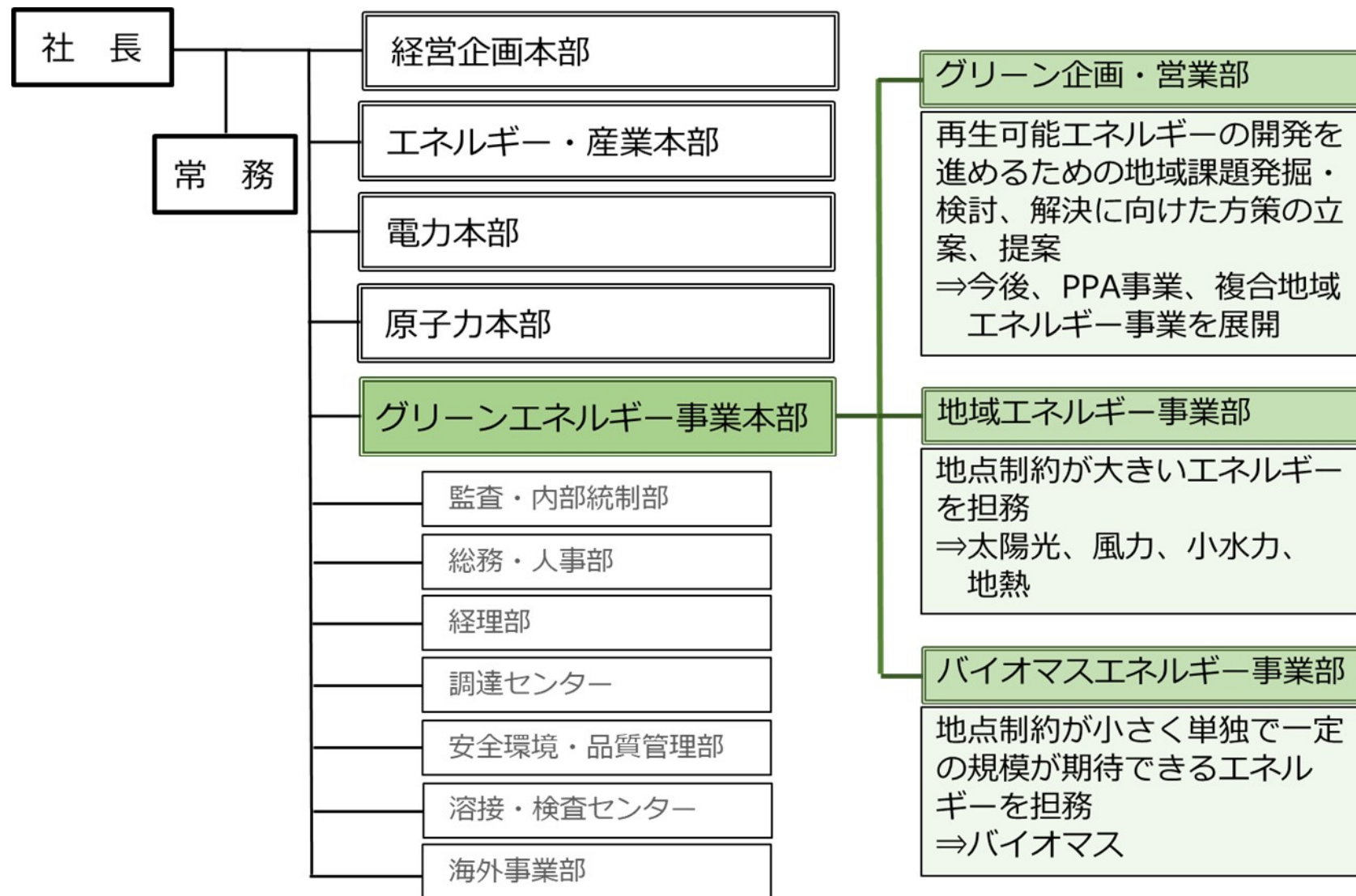
## 2.3. 基盤事業の強靱化に向けた本部体制の再編成

火力事業の技術力・営業力強化のため電力本部と火力プロジェクト本部を統合・再編、エネルギー・産業本部のエンジニアリング機能強化



## 2.4. グリーンエネルギー事業本部体制

2022年7月1日 組織改編



## 2.4.1. これまでの再生可能エネルギー事業① (総合エンジニアリング企業)

### 従来の請負型ビジネスモデル

- 創業以来、電力会社様や各種のお客様から工事を請け負うことで、設備工事業としての工事力に加え、EPC・O&M業務まで、一連の業務実績を集積
- 自社において、自ら太陽光発電設備や境港バイオマス発電所を保有することで、OE（オーナーズエンジニアリング）業務、パフォーマンスマネージメント業務を受託

これまで蓄積してきた技術力・知見

プロジェクト始動

E (設計)

P (調達)

C (建設)

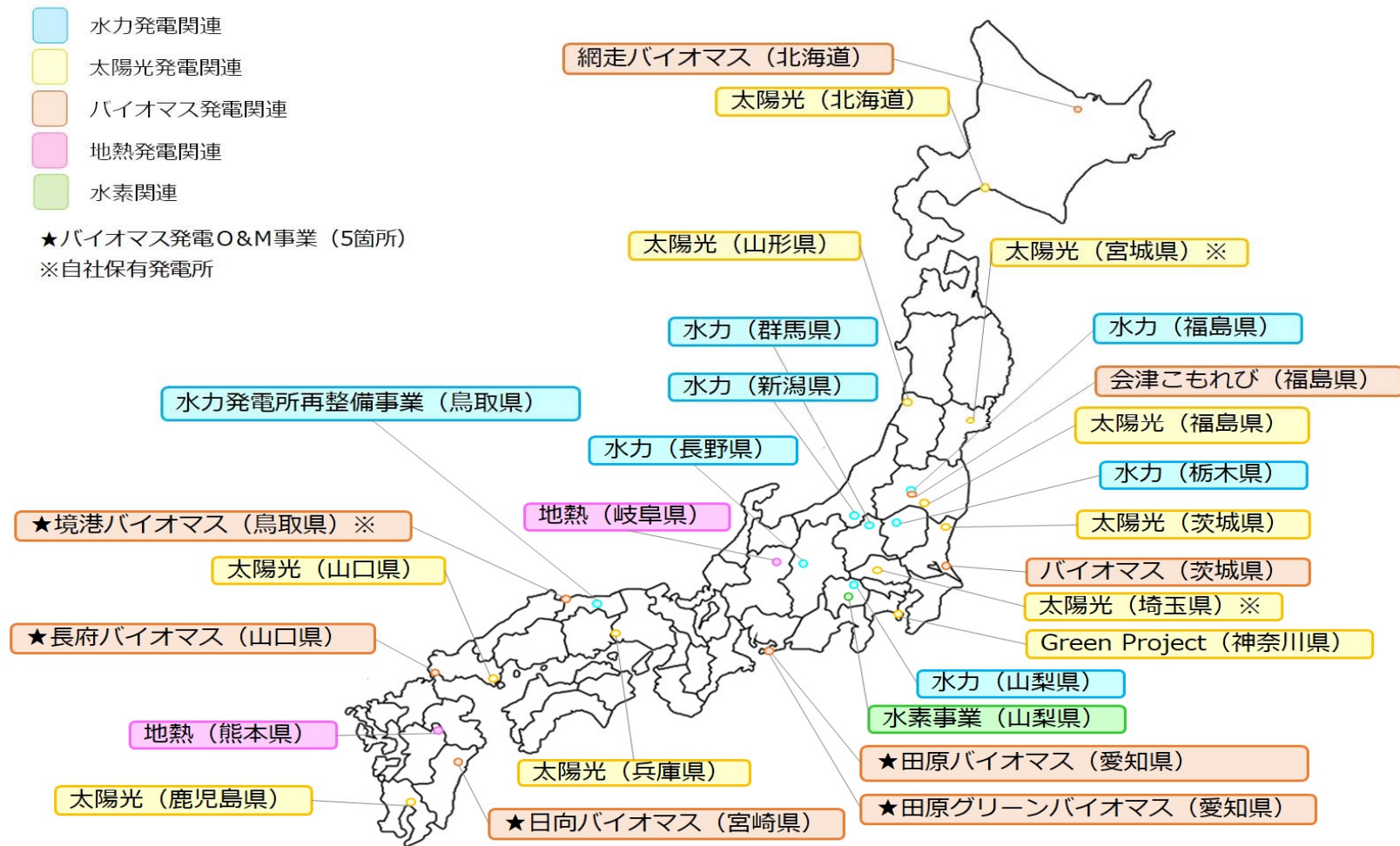
事業開始

O&M

発電事業

エネルギーインフラ設備に関わる  
総合エンジニアリング企業としての実績・ノウハウ

## 2.4.1. これまでの再生可能エネルギー事業② (当社の再エネの取り組み)



各種の再生可能エネルギー設備を施工した対応力

従来の請負型ビジネスモデルに加え、地域課題発掘・解決型ビジネスモデルを確立

## 2.4.2. グリーンエネルギー事業本部① (地域課題発掘・解決型ビジネスモデル)

### 地域課題発掘・解決型ビジネスモデル

- 地域社会と連携し、地域的課題を共に解決するため取り組む
- 地域において利用可能な再生可能エネルギー資源の発掘、課題検討からプロジェクト立上を新たに付加

地域課題発掘

事業構想

アライア  
ンス

企画・立案

ご提案

プロジェ  
クト立上

これまで蓄積してきた技術力・知見

プロジェ  
クト始動

E (設計)

P (調達)

C (建設)

事業開始

O&M

発電事業

### グループの総力を結集



東工企業株式会社

株式会社 東 輝



株式会社 東京エネシス

BYCOM  
株式会社ハイコム



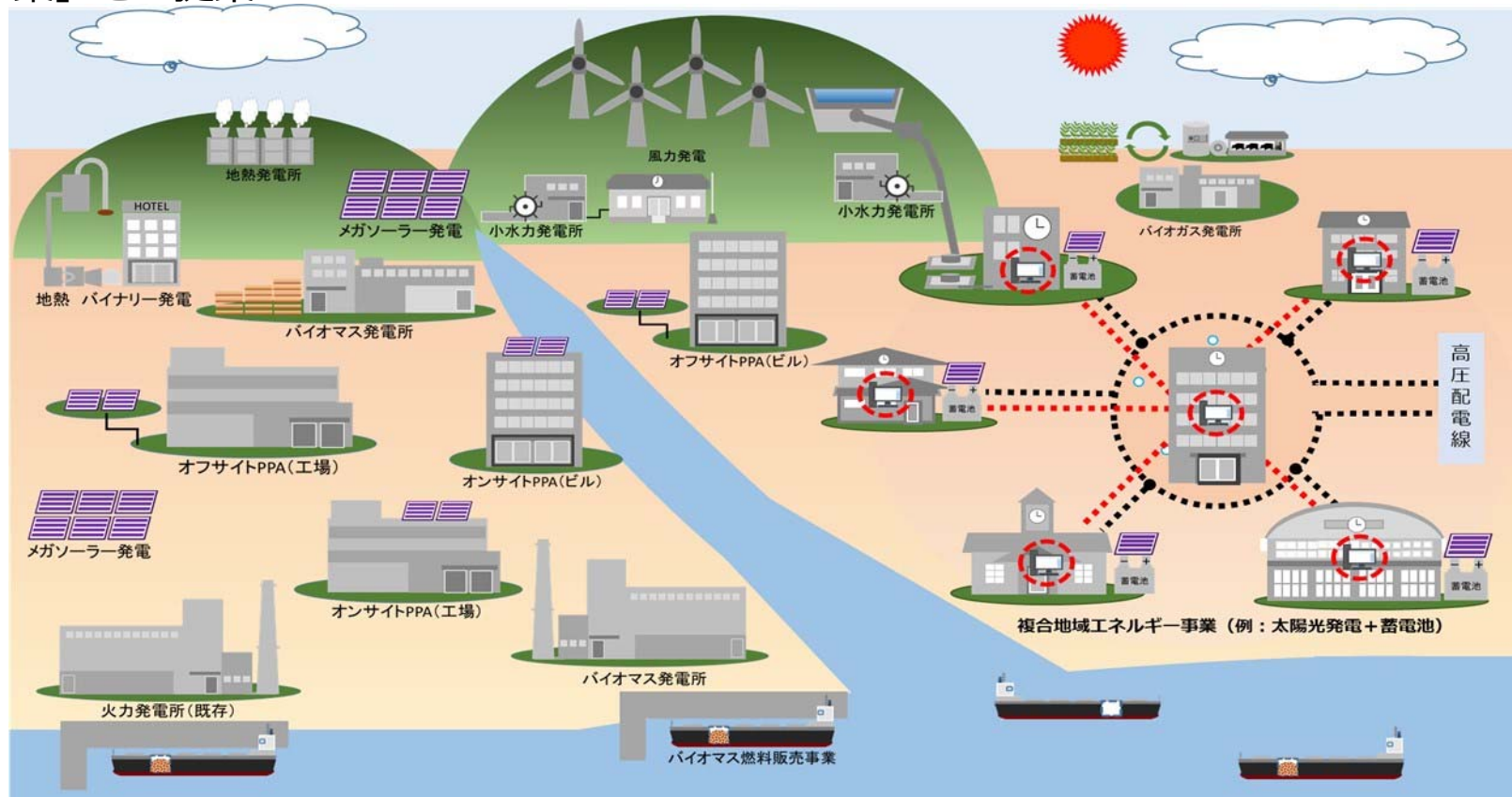
株式会社テクノ東京

用地 保険 事業開発 リース ファイナンス 工事施工

## 2.4.2. グリーンエネルギー事業本部②（事業展開イメージ）

〔地域の課題解決に貢献〕

- 地域の課題に対して、地域の資源・特性・潜在的エネルギーを活用（組み合わせ）して、地元の皆様へ再生可能エネルギー利用を提案し、事業化を推進
  - 2021年、複数地点の太陽光発電設備を一元管理するエネルギーマネジメントシステムを北海道厚真町様にご提案、ご採用
  - 今後、エネルギーの「地産地消」に「地防」も兼ね備えた「複合地域エネルギー事業」をご提案



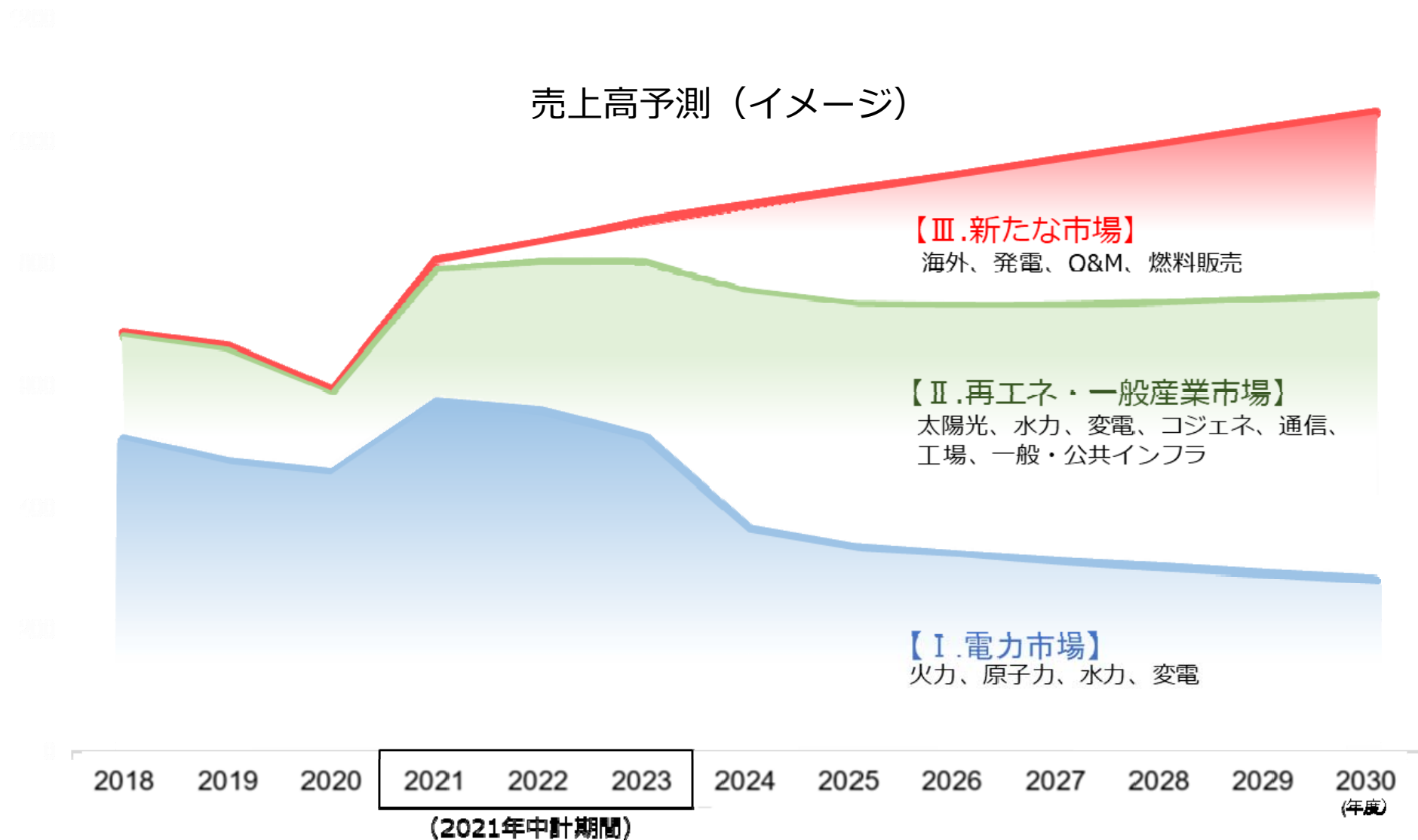


## 2.4.3. グリーンエネルギー事業関連 売上高の推移（連結）



- グリーンエネルギー事業関連：  
水力発電設備工事、太陽光発電設備工事、バイオマス発電設備建設、発電事業（太陽光・バイオマス）、バイオマス燃料販売、太陽光・バイオマスO&M事業

## 2.5. 今後の予測 市場別の予測

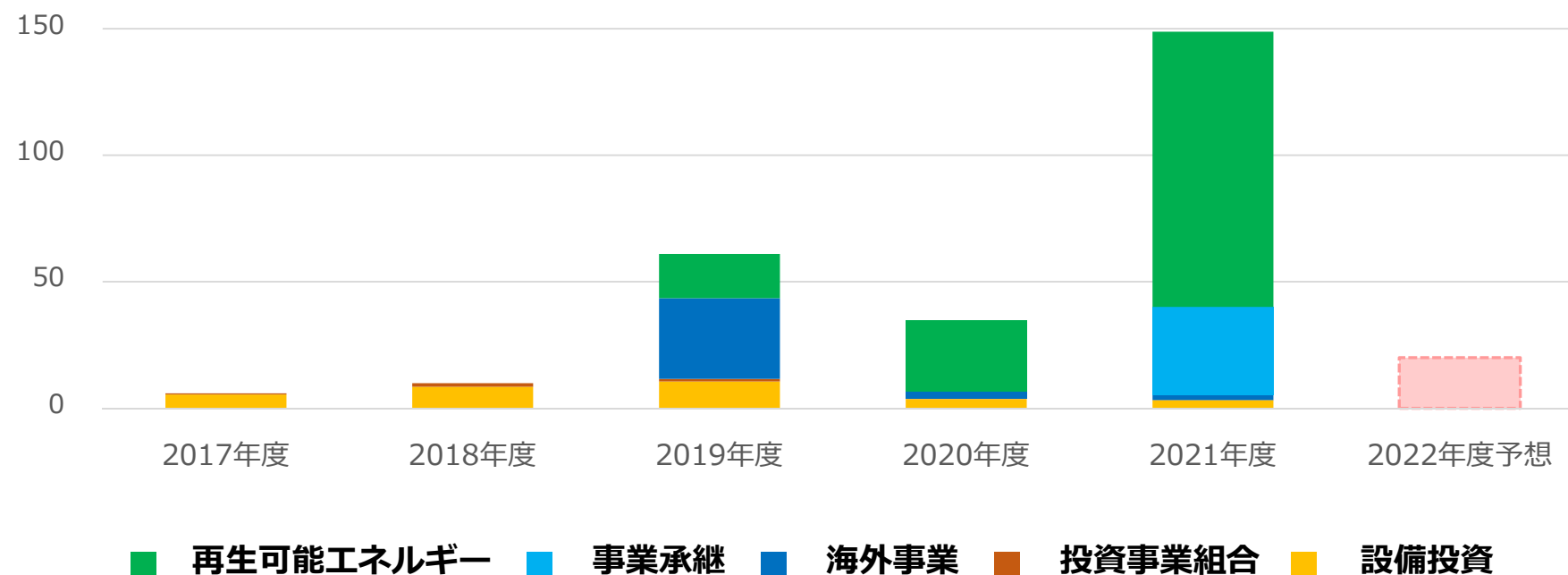


### 3. 成長を見据えた投資

- 2021年度は境港バイオマス発電プロジェクト及びバイオマス発電事業、事業承継の投資により大幅増
- 2022年度についても、引き続き、リスクとリターンを的確に見極めつつ、当社の企業価値向上へ向けた投資を継続

戦略的投資額の推移

(単位：億円)



## 4. 資金調達

### 資金調達の考え方

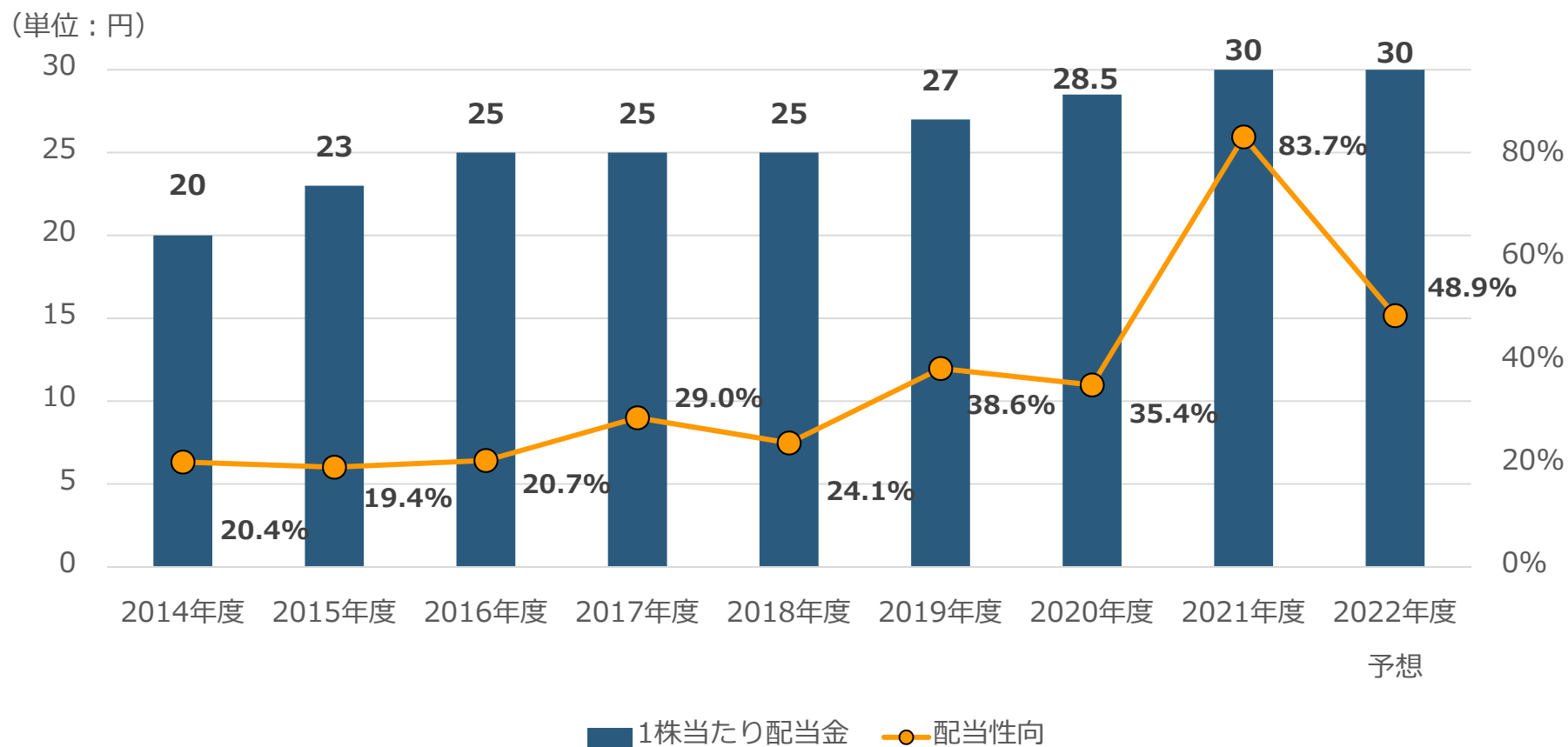
- 直近1年の手元流動性としては、2021年度の境港バイオマス発電プロジェクト及びバイオマス発電事業、事業承継といった成長を見据えた投融資、更に大型建設工事等への先行支出があり、一時的に運転資金の借入を実施したが、依然、当社の財務状態は健全性かつ安定性を保持
- 今後も、財務の健全性を維持しつつ、必要により外部からの資金調達も実施

#### 自己資本比率、D/Eレシオの推移（個別）

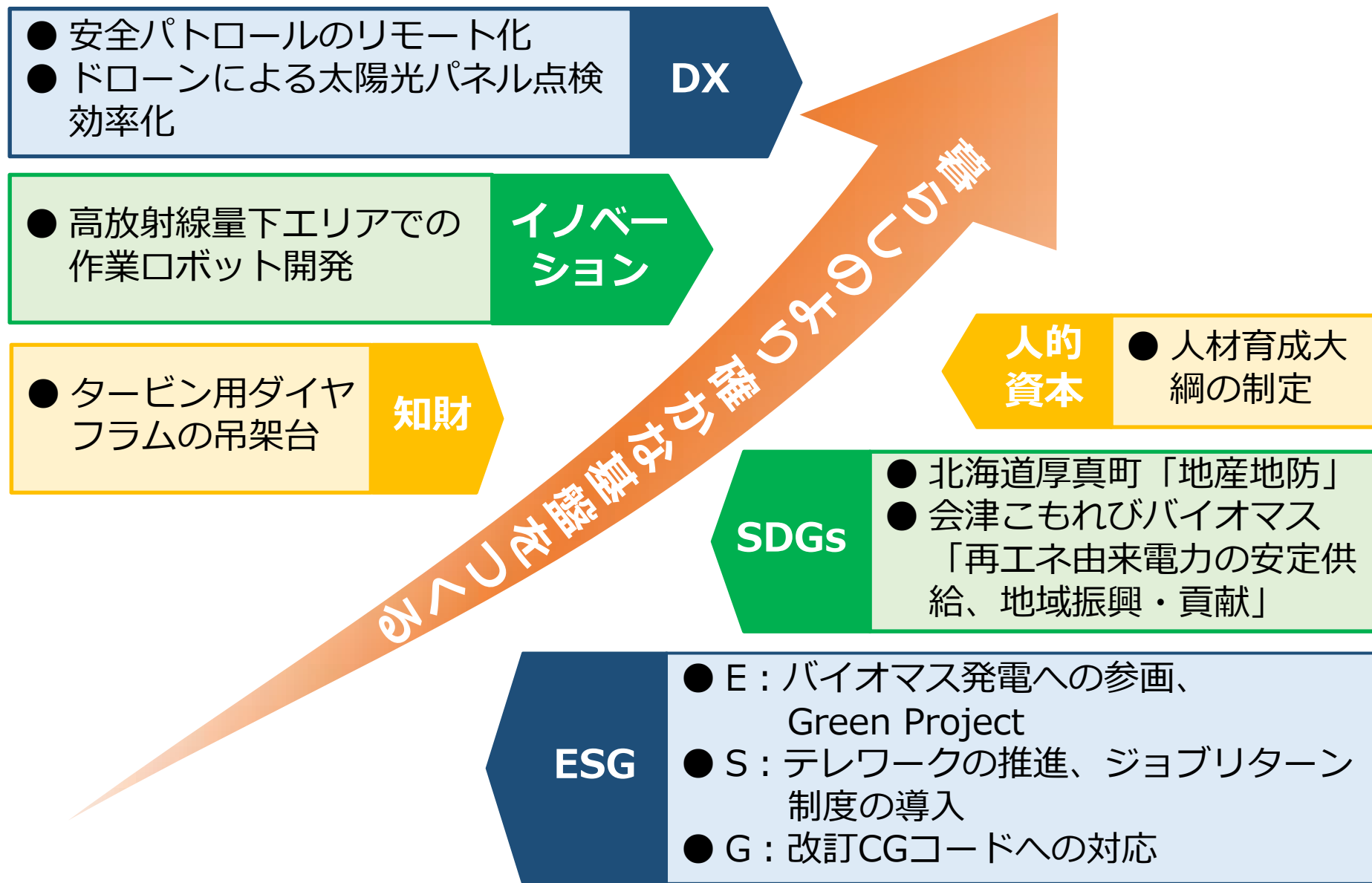
	2019年度	2020年度	2021年度
自己資本比率	72.7%	71.4%	62.7%
D/Eレシオ	0.02	0.03	0.14

## 5. 配当方針

- 当社の配当政策は、安定配当の継続が基本方針
- 2022年度は年間配当として30円を予想



## 6. サステナビリティへの取り組み



## 【この1年間のトピックス】

---

【バイオ】 境港バイオマス発電所 運転開始に向けて燃料初入港

【バイオ】 日向バイオマス発電所 起工式

【太陽光】 北海道厚真町における防災対応型蓄電池式太陽光発電  
設備工事の受注

【水 力】 日橋川発電所（福島県会津若松市）水車発電機据付工事  
の完成

【水 素】 水素利用の社会実証を目指した設備を設計・施工

【原子力】 高放射線量下エリアでの作業ロボット開発の取り組み

# 【バイオ】 境港バイオマス発電所 運転開始に向けて燃料初入港

- 境港バイオマス発電所向け P K S 燃料供給事業を実施
- 5月26日、同発電所初の P K S 燃料約8,000トンが鳥取県境港に入港
- 5月31日、第1船入港を記念し、関係者の方々にご臨席賜わり入港セレモニーを開催
- P K S 燃料は、今後、発電所内の燃料貯蔵建屋及び発電所近傍の燃料ヤードに搬入
- 順次、各種試験・検査を受検
- 建設工事は順調に進捗しており、6月上旬、総合試運転を実施  
引き続き、外構、植栽、舗装工事を実施
- 2022年 7月 火入れ予定
- 2022年 秋 運転開始予定



入港セレモニー記念集合写真



境港バイオマス発電所全景（建設中）



## 【バイオ】日向バイオマス発電所 起工式を開催

- 4月28日、日向バイオマス発電所起工式を開催
- 起工式には、十屋幸平日向市長はじめ地元関係者の方々のご臨席を賜り、事業者である日向バイオマス発電 揚 鋼一郎社長、出資会社として伊藤忠商事 石井敬太社長、大阪ガス 藤原 正隆社長、東京センチュリー 佐藤 浩専務執行役員、当社 熊谷 努 社長、また、施工者として三菱重工業 泉澤 清次社長等が参列し、今後の建設工事の安全と事業の繁栄を祈願
- 当社は、オーナーズエンジニアリング業務（建設中管理業務）及び長期にわたる運転・保守業務を担務
- 2024年11月運転開始予定



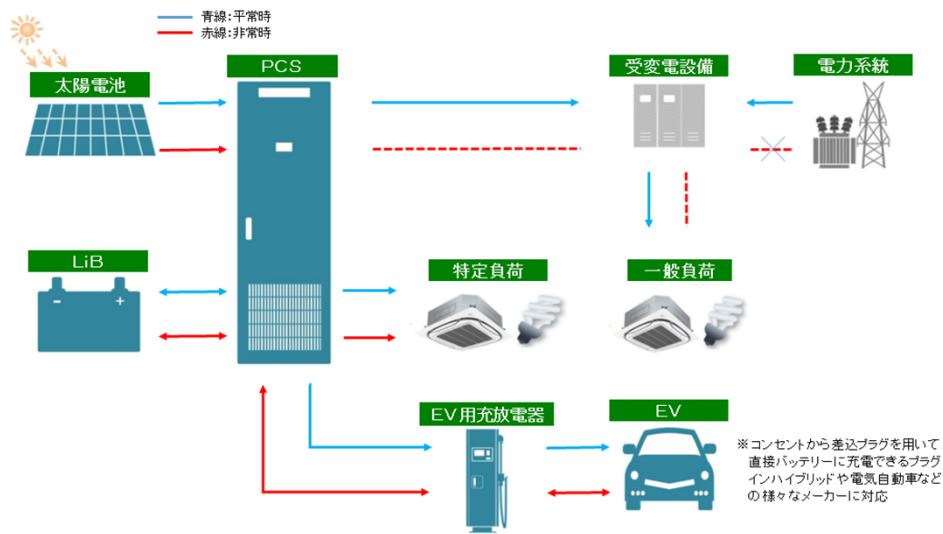
起工式記念集合写真



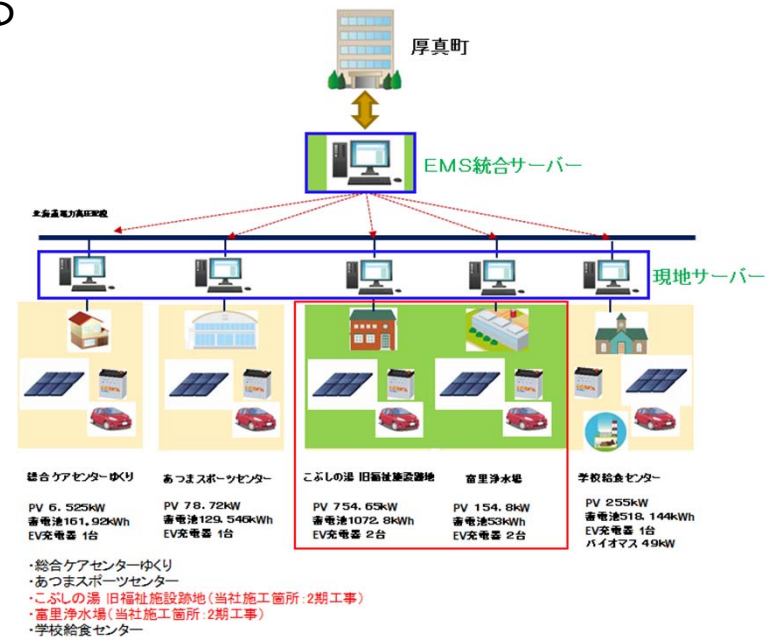
玉串奉奠（当社 熊谷 努社長）

# 【太陽光】 防災対応型蓄電池式太陽光発電設備工事の受注

- 北海道厚真町様より、『厚真町「地産地防」エネルギー6次産業化プロジェクト 第2期工事関連設備導入事業』における太陽光発電所建設工事の設計・調達・建設（EPC）及び同町で建設される5つの太陽光発電設備を一元管理するためのエネルギーマネジメントシステム（以下「EMS」）を一括受注
- 本事業は、温室効果ガス排出を抑制するための再生可能エネルギーの導入による地産地消を推進するとともに、2018年9月に発生した北海道の大地震により甚大な被害を受けた経験から防災機能を強化
- 本事業では、V2Xシステムを採用  
また、当社が提案したEMSが採用されている



V2Xシステムの構成



EMSの構成

## 【水力】日橋川発電所水車発電機据付工事の完成

- 東京電力リニューアブルパワー株式会社（以下、東京電力RP）様日橋川（にっぱしがわ）発電所の水車発電機据付等の工事が完成
- 東京電力RP様は、運転開始から100年以上経過した本発電所の改修にあたり、発電出力を増強する「リパワリング工事」を採用
- 工事期間中の自然災害等の影響により水力発電所にある3つの発電機の据え付け作業が輻輳する工程となる中で、他工事との作業時間の調整、重機使用時間や作業員の割り振り等の現場管理に細心の注意を払い工事を完遂
- 東京電力RP様は、本リパワリング工事を福島復興の一環として位置付けられており、福島県内からの雇用や工事資機材調達を推進
- 当社も、本工事においては地元企業と協働・連携して工事を進捗



発電所建屋外観



2号機ロータ吊り込み



3号機ランナ吊り込み

## 【水素】水素利用の社会実証を目指した設備を設計・施工

- 山梨県様等は、NEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）様の委託事業として、再生可能エネルギーの電力を用いたグリーン水素を製造し、化石燃料の利用を低減させることを目的としたプロジェクト「H2-YES」を推進
- 本プロジェクトの一環であるP2G（パワー・ツー・ガス）システムにおいて、エネルギー需要家での水素利用に関して、山梨県企業局様の企画のもと、東京電力エナジーパートナー株式会社様と共働して、水素焚き簡易ボイラと純水素型燃料電池設備を用いた新たなエネルギー供給パッケージを設計・施工し、試運転を開始
- P2Gシステムは、水を電気分解することで水素燃料を製造する技術であり、カーボンニュートラル社会の実現に向け、再生可能エネルギーの導入拡大と温室効果ガスの削減において世界的に期待



P 2 Gシステム利用設備

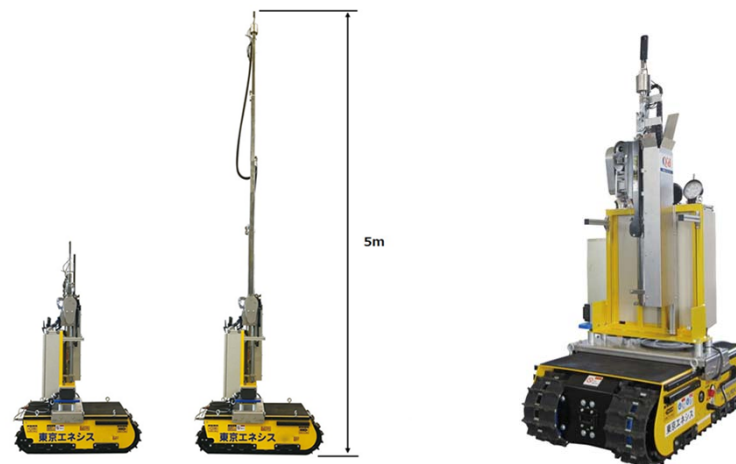
(①純水素型燃料電池設備 ②水素焚き簡易ボイラ ③都市ガスボイラ)

# 【原子力】高放射線量下エリアでの作業ロボット開発の取り組み

- Wi-Fiネットワークシステム搭載型遠隔走行作業車を開発
- 最大10機の中継機リレーが可能、1台あたりの中継電波範囲半径30～100メートル
- 通信遮断時の誤作動を防ぐ自動停止機能や自動停止後に電波が回復した場合の自動接続機能（ローミング機能）付
- 高放射線量下エリアの立ち入り困難な場所や鉄筋コンクリートの建屋内や遮へい壁の多い現場でも作業可能
- ローミング機能の改善・向上や多様な作業環境に対応できるように新たな視点での取り組みを進め、今後とも廃炉推進に貢献すべく、高放射線量下エリアでの作業ロボットの開発に挑戦



Wi-Fiネットワークシステム搭載遠隔走行作業台車



遠隔操作式高所点検ロボット

---

## 免責事項：

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいておりますが、当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

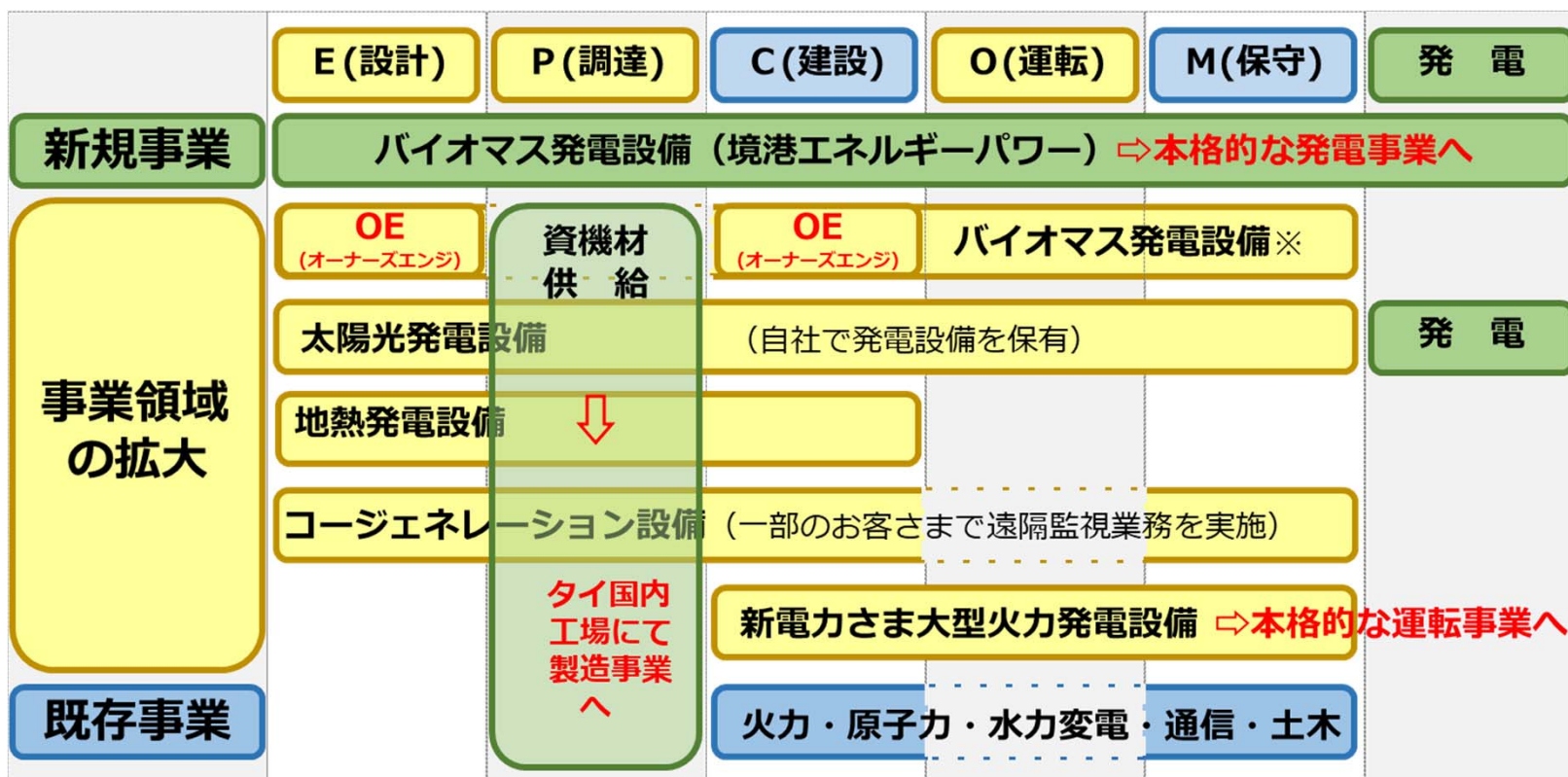
なお、本資料は、投資家判断の参考となる情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。

---

## 【参 考】

# 最重点課題への対応「新事業領域の更なる拡大」

- 事業構造を転換し長期的に安定した収益を確保するため、設備工事を中核にしつつ事業領域の拡大に注力
- 海外事業では設備工事の実施も視野に資機材製造・販売事業を展開
- 新たな事業領域、新規事業の成果を設備工事業へフィードバック



- ※ ①OE (オーナーズエンジニアリング)  
 事業主に対し設計、調達、建設、その他の発電所運営に向けた準備等において、適宜技術的なサポートを行うこと
- ②一部出資参画型



## 【バイオ】 バイオマス発電の取り組み状況（境港バイオマス除く）

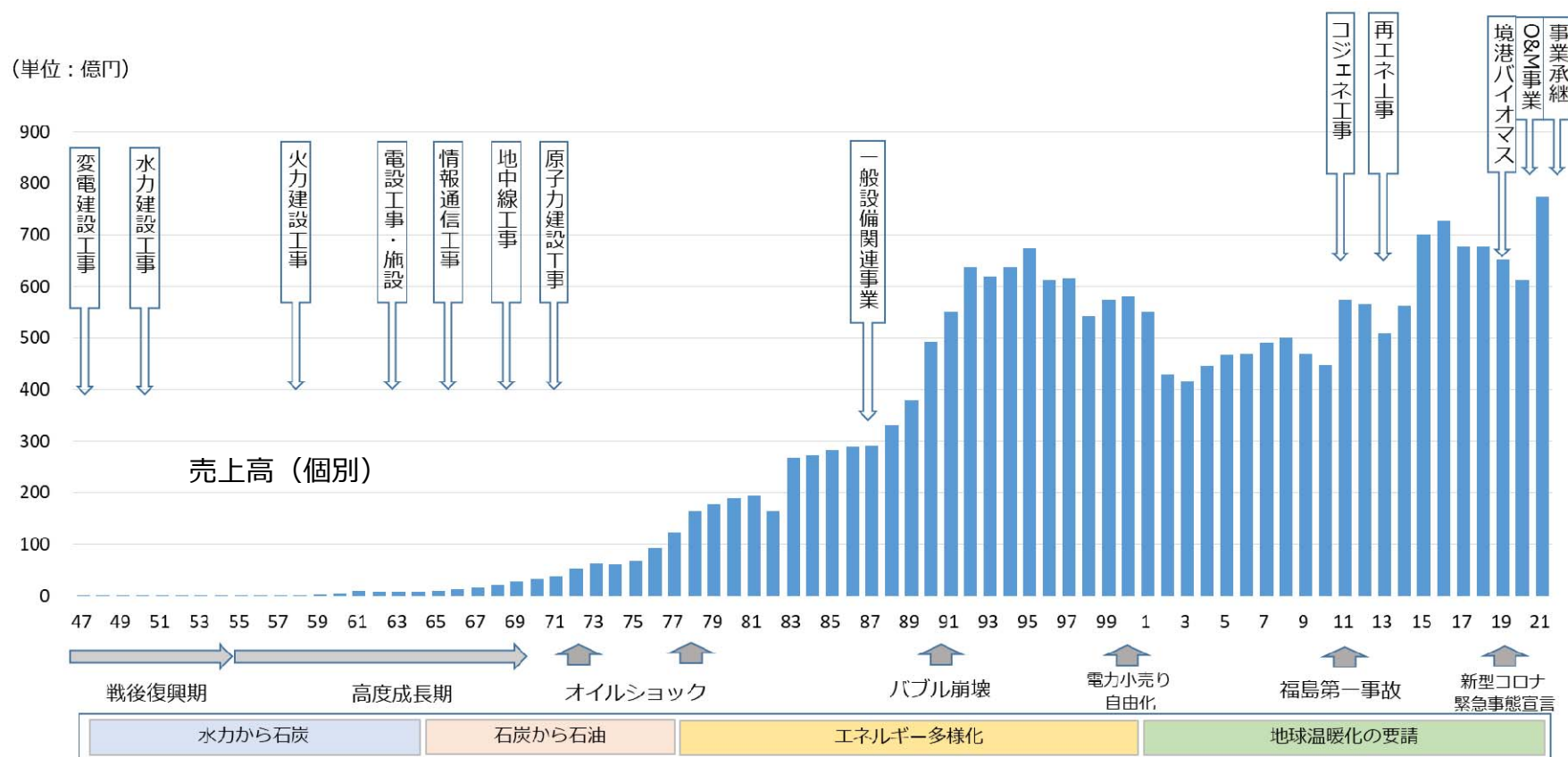
発電所名	出資参画	O&M	OE	その他	営業運転 予定日
日向バイオマス発電所 (宮崎県)	○	○	○		2024年11月
長府バイオマス発電所 (山口県)	○	○	○		2025年1月
田原グリーンバイオマス発電所 (愛知県)		○			2025年4月
会津こもれび発電所 (福島県)	○			EPC	2024年12月
田原バイオマス発電所 (愛知県)	○	○	○		2025年4月
網走バイオマス発電所（2号機、3号機） (北海道)	○			パフォーマンス マネジメント※	2号機：2022年8月 3号機：2022年12月

※パフォーマンスマネジメント：

発電所稼働率、発電量、発電設備及び関連機器の稼働状況のデータ確認、発電所運営の良好維持のための安全・品質管理状況のモニタリング及び助言等

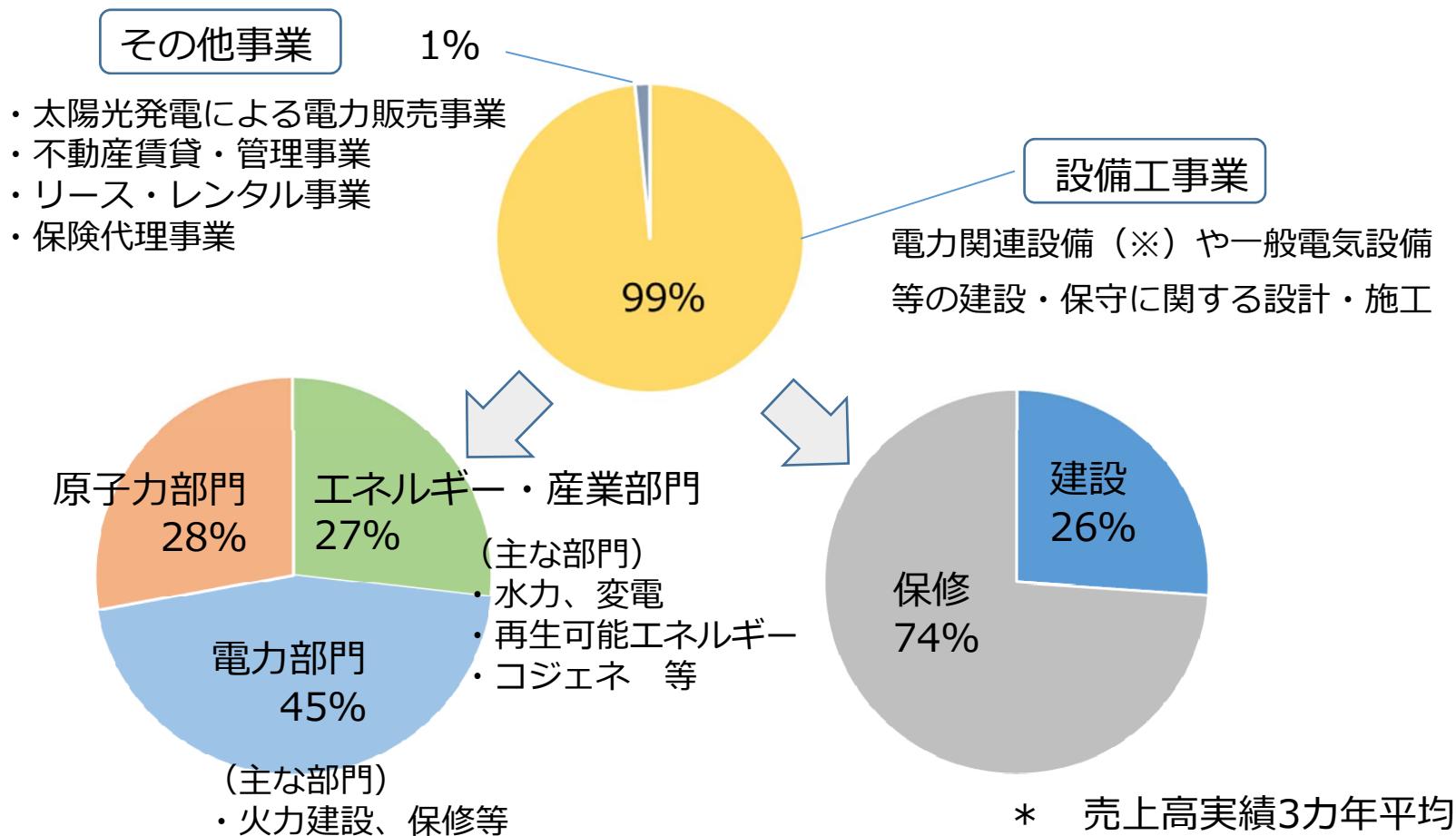
# 当社事業活動

- ▶ 当社は創業以来、戦後復興期から高度成長期には変電・水力発電工事を中心に事業を営み、エネルギー構造の変化とともに火力・原子力発電工事へ展開
- ▶ 近年は、社会情勢の変化とともに、コージェネレーション設備や再生可能エネルギー設備の建設、保守工事等に事業を拡大
- ▶ バイオマス発電設備やタイ工場の保有・稼働、事業承継等により、更なる成長を目指し事業構造の転換を推進中



# 事業の特色

- ▶ 当社事業は、設備工事業が99%を占める
  - ✓ セグメント別割合・・・エネルギー・産業部門が27%、電力部門が45%、原子力部門が28%
  - ✓ 工事種別割合・・・建設が26%、保守が74%



## 【売上高・利益】

単位：百万円

	2020年度	2021年度	増減額
売上高	59,514	72,578	13,064
営業利益	4,104	3,158	△946
経常利益	3,920	3,257	△662
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,747	1,226	△1,520

## 【受注高・手持工事高】

	2020年度	2021年度	増減額（比率）
受注高	80,162	117,055	36,892（46.0%）
手持工事高	86,386	128,323	41,936

※当期首より、収益認識に関する会計基準等を適用。前期と会計基準が異なるため、受注高のみ比率を記載。

## 【貸借対照表】

単位：百万円

資産の部	2020年度	2021年度	増減額
流動資産	58,464	59,614	1,150
固定資産	31,151	43,367	12,216
有形固定資産	20,336	25,945	5,609
無形固定資産	801	3,464	2,663
投資その他の資産	10,013	13,957	3,943
資産合計	89,616	102,982	13,366
負債・純資産の部	2020年度	2021年度	増減額
流動負債	16,487	27,218	10,731
固定負債	8,269	11,291	3,022
負債合計	24,756	38,510	13,753
株主資本合計	62,773	63,016	242
純資産合計	64,859	64,472	△387
負債・純資産合計	89,616	102,982	13,366

※当期首より、収益認識に関する会計基準等を適用。前期と会計基準が異なるため、増減額を記載。

## 【連結経営指標等】

決算期	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
売上高 (百万円)	68,709	68,644	66,520	59,514	72,578
経常利益 (百万円)	4,356	5,031	3,899	3,920	3,257
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	2,904	3,508	2,376	2,747	1,226
純資産額 (百万円)	58,641	61,455	62,758	64,859	64,472
総資産額 (百万円)	83,446	85,755	85,401	89,616	102,982
1株当たり純資産額 (円)	1,734.86	1,812.12	1,841.82	1,897.94	1,887.85
1株当たり当期純利益 (円)	86.07	103.64	69.94	80.50	35.85
売上高営業利益率 (%)	6.1	7.0	5.9	6.9	4.4
自己資本比率 (%)	70.3	71.7	73.4	72.4	62.8
自己資本利益率 (%)	5.1	5.8	3.8	4.3	1.9
株価収益率 (倍)	13.9	9.5	11.8	11.4	27.1
従業員数 (人)	1,489	1,455	1,480	1,464	1,618